

ると、7～9月期の景況判断指数(BSI)は全産業で4.6だった。3年(12四半期)ぶりにプラスに転じた。製造業で海外輸出が拡大。猛暑で家電など国内小売業が好調だったことがけん引した。ただ急速な円高などを背景に、10～12月期は再びマイナスに転落する見通しで、先行きは不透明。

昇した。自動車や自動車関連部品、情報通信機械など輸出関連業種の景況感が上向いた。

非製造業はマイナス1.9と同9.0の改善。同事務所は「政府補助金や猛暑を受け、自動車や家電の販売が好調だったよつだ」と分析する。従業員数について「不景気」と答える企業が、

半導体や電子部品の製造装置メーカーのAJI(横浜市、吉田邦夫社長)は携帯電話用のカメラなどに使う薄型レンズの製造技術を開発している。ガラスの代わりに特殊樹脂を使用し低コストで大量生産が可能な技術を確認。携帯電話のほか、発光ダイオード(LED)照明などにも応用し、来年から海外メーカーが技術を導入する予定だ。

同社の装置で製造するレンズはアクリルに特殊材を混ぜ、熱で固めて製造する。ガラスを使用しないため材料費を抑え、レンズの厚みも0.1ミリと従来の約半分にできる。樹脂の耐熱性が高く、セ氏200度以上でも影響を受けない。はん

この企業ここがポイント



《会社概要》
 横浜市中央区新港2の2の1横浜ワールドポーターズ6階
 (☎045・222・2985)
 半導体装置の販売・製造
 従業員数20人
 収入の柱は海外部品メーカーからのライセンス料。このほか、ハードディスクドライブの記憶容量を高める光学部品用レンズの試作も開始。今年に入り自動車用のバックビューカメラに内蔵するレンズの開発にも着手している。

携帯レンズ、量産技術確立 樹脂使い 低コスト

だ付けで強い熱を帯びても精度を維持する。約1万5000個の小型レンズをレーザーで切り出す製造装置のほか樹脂など材料も販売する。「量産化の技術を開発。2008年に特許を取得した。

収入の柱は海外部品メーカーからのライセンス料。このほか、ハードディスクドライブの記憶容量を高める光学部品用レンズの試作も開始。今年に入り自動車用のバックビューカメラに内蔵するレンズの開発にも着手している。

神奈川

横浜 045・2201・2255
 川崎 044・2222・7793

業のBSIはマイナス5.1に再転落する見通し。8月15日に調査し、54社から回答を得た。

業のBSIはマイナス5.1に再転落する見通し。8月15日に調査し、54社から回答を得た。

横浜市バス

28年度まで赤字続く 来年度以降退職金など膨らむ

横浜市営バス事業の収支で最終損益が来年度以降、赤字になることが9月まで続く見込み。収益の降、赤字になることが9月まで続く見込み。収益の降、赤字になることが9月まで続く見込み。

が経営を圧迫する。市議会の常任委員会で市が明らかにした。収支の見通しは現在の127のバス路線を維持していただくことを前提に試算した。10年度の最終損益は3億9400万円の赤字を確保するが、11年度には5500万円の赤字に転落し、最大20億近くまで赤字が広がる見通しだ。

乗車料収入は10年度で193億8000万円を見込むが、「(今後)この見込みを策定するに際しては、市解消に向けてめられそう

中小の補助金

横浜商工本 木謙二会頭 奈川県に2 県政について 提出した。 域振興事業 金を拡充す た。医療・ 充など地域 実も要望し たは8月末、 望書を提出し